

# 漁海況旬報

No. 14 - 27

## ちば

平成14年10月4日発行

千葉県水産情報通信センター  
千葉県水産研究センター

### 2002年秋季(10~12月)東北海区マサバ漁況の見通し

10月1日に東北区水産研究所から三陸~常磐~房総海域のまき網漁業を対象にした、10~12月の東北海区の秋サバ漁の予測が発表されました。7月に中央水産研究所が発表(7~12月の漁況予測)した予測の修正が主な内容となっていますが、サバまき網漁業の現況と最近の情報を加えてお知らせいたします(\*魚体の大きさは尾又長で表示)。

- 【来遊量】** :マサバ,ゴマサバとも,0歳魚(2002年級群)は前年を大きく上回る。1歳魚(2001年級群)は前年を大きく下回る。2歳魚以上は前年を大きく下回り少ない。全体では昨年を大きく下回る。
- 【漁期・漁場】** :10月は,まとまった漁場形成はなく,三陸海域で散発的な漁獲があるのみ。11月以降,0歳魚の沖合からの来遊によって三陸から常磐海域で,断続的かつ小規模な漁場が形成される。12月には犬吠海域でも漁獲がみられる。
- 【魚体】** :マサバ,ゴマサバとも25cm以下の0歳魚,30~35cmの2,3歳魚が主体。26~29cmの1歳魚が混じる。漁獲物のゴマサバの割合は高く,ゴマサバ主体の漁獲物も多く見られる。

#### 【説明】

マサバ2,3歳魚(2000,1999年級群)は,現在,まき網や定置網漁業の主漁獲対象となっているが,近年では比較的加入豊度が高かったものの1歳魚時から漁獲され続けており,残存資源量は少ない。ゴマサバ2,3歳魚も,マサバ同様,残存資源量は少ない。マサバ1歳魚(2001年級群)は,コホート解析の結果,過去30年間で最も豊度の低い年級群とされている。ゴマサバ1歳魚の豊度は,低かった1997,1998年級群は上回る程度で高くないとされている。調査船調査の結果,マサバ,ゴマサバとも漁場外の沖合での分布はほとんどみられず,今後の来遊資源は期待できない。マサバ0歳魚(2002年級群)は,上記の調査船調査結果や,すでに沿岸のまき網漁場にも分布していることから,加入豊度は1992年級群には及ばないものの近年の低水準にあっては比較的高く,来遊量は前年を大きく上回る。ゴマサバ0歳魚も,マサバ同様分布が見られており,加入豊度は比較的高いと判断する。

1歳魚以上は沖合での分布がほとんどみられないことから,沿岸域に滞泳する2,3歳魚主体のわずかな群の集群によって散発的に漁場が形成されるのみと判断される。0歳魚は沖合広く分布が見られ,三陸海域へ南下する親潮第1分枝,あるいは沖合の親潮第2分枝から魚群が来遊するが,0歳魚が大規模な漁場形成をすることはなく,断続的で小規模な漁場形成となる。

現在,漁獲されている30~35cm程度の2,3歳魚は漁期が進むとともに産卵親魚として本予測海域から産卵海域へと南下していく傾向にあり,0歳魚の来遊量が増加するため,魚体組成は25cm以下の小型魚の比率が高まる。また,沖合に分布するさば類0歳魚は例年(22~23cm前後)よりも小型で19~20cm前後であった。

#### 【まき網による漁況経過】

7月上旬は,犬吠埼周辺でマイワシ,マアジ主体にさば類混じりの漁獲が散発的に見られた。漁獲物は26~33cmのゴマサバ主体であった。その後,7月下旬から8月上旬に

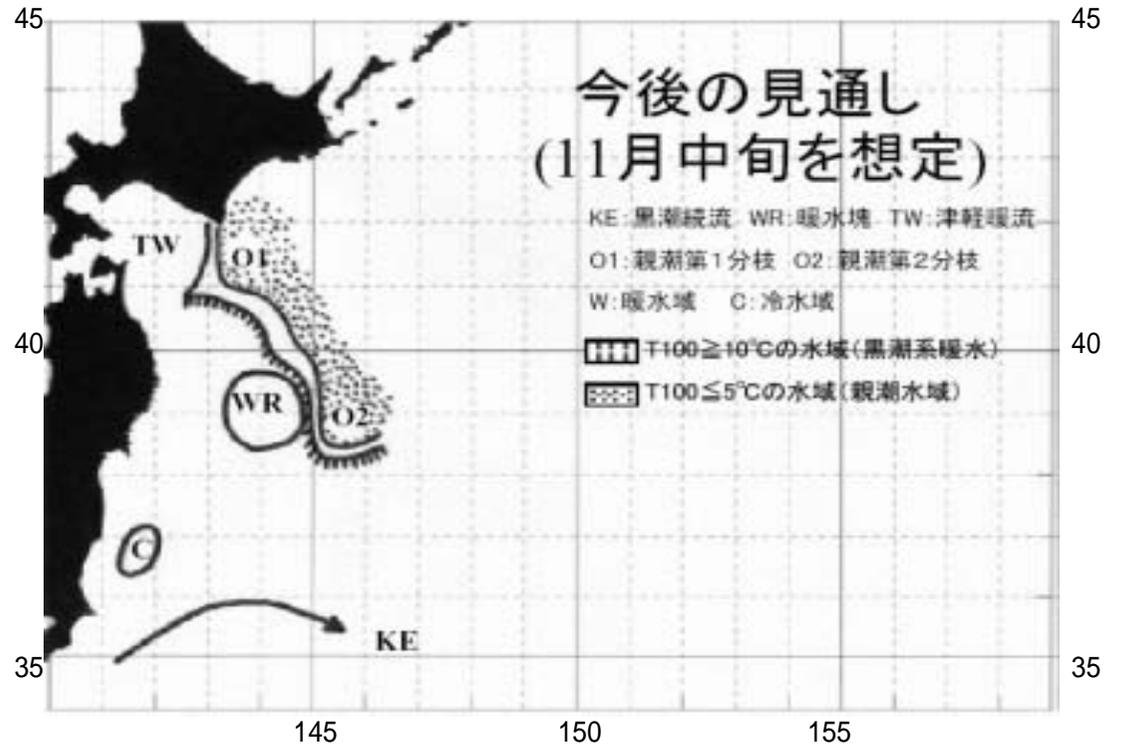
は犬吠埼周辺でマイワシ主体にサバ類0歳魚の混じりやサバ類0歳魚主体の漁獲が散発的に見られた。8月上旬には金華山周辺でも漁獲が見られ,9~10日には10~60トン/隻の漁獲があったが,その後,22日まで少量~10トン程度の散発的な漁獲であった。28日には福島県鷗ノ尾岬沖で単発的に漁獲があった。漁獲物は,30~35cm程度の推定2,3歳魚と25cm以下の0歳魚で,ゴマサバの割合は高く,ゴマサバ主体の漁獲もあった。8月30日には三陸北部の三沢沖で漁獲が見られ,9月14日まで少量~15トン/隻程度の漁獲が散発的に見られた。金華山周辺でも12~14日に少量~60トン/隻の漁獲があった。その後,25~26日に金華山周辺,綾里埼沖,三沢沖で少量~10トン/隻の漁獲があった。

主体は35cm前後の2,3歳魚と25cm以下の0歳魚で,ゴマサバの割合は高く,4~9割程度ゴマサバであった。東北海域における7~9月の漁獲量は,2千トンであり,前年同期実績(7~9月:2.7万トン)の1割以下と大きく下回った。

また,三陸の定置網にはさば類の入網が見られ,7~9月中旬までの漁獲量は7.2千トンで前年同期(6.2千トン)を上回っている。ゴマサバの割合が高く,0歳魚の漁獲はマサバ,ゴマサバとも前年より多い。道東海域周辺のサンマ棒受網漁業では,これまで,さば類0歳魚の混獲はほとんど見られていない。近年では最も豊度の高かった1996年級群では0歳時に大量の混獲が見られている。

#### 【東北海区海況予報:今後の見通し(2002年10~12月)】

東北海区サバ漁況予報と同時に海況予報も発表されました。併せてお知らせします。



- (1) 黒潮の北限位置は,平年並からやや南寄り(35°30'N~36°N)で推移する。
- (2) 黒潮系暖水の北限位置は,近海で北寄りに推移する。
- (3) 金華山沖の暖水塊は北西へ移動する。
- (4) 親潮第1分枝の張り出しは,平年並(41°N付近)で推移する。親潮第2分枝張り出しは,平年並からやや南寄り(38°30'N付近まで)で推移する。三陸南部から常磐近海では,一時的に冷水域の影響がある。
- (5) 津軽暖流の下北半島東方への張り出しは,平年並(143°E付近)である。

KE 黒潮続流WR 暖水塊TW 津軽暖流  
01 親潮第1分枝02 親潮第2分枝